



5月24日 第124号 本号4頁60円 1年間(24回開封・送料込)1700円 発行所 東京都豊島区池袋2-11-2 白石ビル 怒濤社 (82)3312 (東京)8-147121 電話替換 編集発行人 中川進

プロレタリア世界革命の旗の下 万国の労働者団結せよ! 労働者共産主義委員会

「朝権条項」の明記反対について

本音を吐いた日本政府

日中両国人民の連帯強化を

日中平和友好条約の締結交渉が、四月二十五日から北京スタートした。だがこの条約締結で最大の問題とされている「朝権条項」については、依然として日本、中国両国政府間の原則的対立が繰り返されている。

用語は条約になじまない」とか「国間条約の中に第三国に關係する事項を入れるのは好ましくない」とか、わけのわからぬ理由にもならぬことをいって条約に明記することに反対してきている。

ベトナム人民の勝利を祝す

ベトナム人民のサイゴン解放による勝利を全世界の労働者人民と共に祝す。ベトナム民主共和国のフアン・バン・ドン首相は「今後、臨時革命政府のグエン・チ・ビン外相は、「平和・独立・中立を守る南ベトナム建設が急務。ベトナムは段階的に統一される」と述べている。

集会・闘争短報 五・一五闘争(二面参照) 五・二九リッダ闘争 周年人民集会 十一・一八闘争初公判 六月五日午前十時東京地裁

「朝権条項」の明記反対について 中国の中日平和友好条約締結の方向は、日本帝国主義の中国への敵視、侵略、干渉に対する緩和策であり、そこで中日共同声明の「朝権を求めず」という要求を求めようとするいかなる国の試みにも反対する」ということを明記することを要求する

公労協・私鉄など 「決戦スト」に突入

公労協関係の回答は二十九日(一六千四八・七)賃上げと引き換えに、公労協は全労協もこれを拒否した。公労協はこの回答を撤回することを要求すると決定し、「決戦スト」への突入を決めた。

日共は、革命運動の原則をめぐって、「修正主義」と批判されたことに、小ブル的に反発し「朝権条項」的干渉と決めつけこれを最大の理由にして、「朝権条項」の明記に反対することを宣言している。

一連の反動法案の反人民的性格

現在、様々な形での労働者・人民にたいする攻撃が強められており、国会においては、政府・自民党の姑息策動によるあらゆる法案が、数々の「改正」法案を以て新法案が提案されている。労働者・人民は、これらの法案のもつ意図が一体何であるのかをしっかりとみきわめ、革命的警戒心を高め労働者階級の利益に敵対する策動にたいして断然たる闘いを組織する必要がある。

「注」外録法 改悪点として次の点が指摘されている。 第一は、市町村当局の所管とされている外国人登録事務に入管当局の介入の道をひらく条項を新設したこと。 第二は、市町村当局の調査権を拡大し、在日朝鮮中国人などに對する監視体制を強化した。 第三に、居住地以外の記載事項の変更登録の義務規定を強化

力をもっており、他国や各国民に對して有形無形のどうかつをかけているのである。そればかりか、自民党内の反動的な部分には在日外国人を排斥し、その自由を制限している現在の「外録法」を「行政の簡素化」の名の下に、在日外国人、とりわけ在日中、朝人民に対する管理抑圧をますます強化するものであり、治安政策の強化以外の何物でもないからである。

4・28闘争に決起

八二五共闘、七七連協など

八・二五共闘と七・七連協の共闘の下に行われた四・二八闘争は、機動隊の重砲弾をばねかえし、戦闘的闘争に挑みかされた。

四・二八闘争は、インドシナ人民の民族解放闘争の勝利的前進と、南朝鮮人民の決起に連帯すること、沖縄の米共同した反革命拠点としての強化に対決すること、そして、七年沖縄「返還」以降の帝制の沖縄支配の強化という現実に対して沖縄「本土」労働者人民の連帯した闘いを強めていくことが、この闘争の目的として掲げられた。

沖政争へ対決する第一波闘争としての意思、一致を固めるものと、八二五共闘、七・七連協を中心として闘わされた。

集会に対して、官憲は放水車装車先頭を強力な弾圧体制をひき、アジア人民と連帯し、沖縄「本土」労働者人民の固い連帯を体現するこの闘争に対する根強い恐怖をあわした。

集会は次のスローガンをかかげ、強固な闘いの決意の下に行われた。「海洋博粉碎！皇太子訪沖阻止！CTS建設阻止！米軍基地撤去！自衛隊基地解体！沖縄「返還」協定締結！

アピール

四二八闘争は、海洋博粉碎皇太子訪沖阻止、CTS建設阻止へ集中した沖縄「本土」の連帯した闘争の第一波として最も先進的の実をもつて闘い抜かれた。闘いの進むべき方向を示すものであったが、この闘いをより広げ強固なものとするために、いま一歩前進、系統的な活動の大胆な強化が問われている。

この四二八闘争には、さらさら三里塚の北原鉦治氏から市議選挙のあきさつと闘いの決意表明のアピール(別掲)が寄せられ、熱い連帯を確証した。

この四二八闘争には、さらさら三里塚の北原鉦治氏から市議選挙のあきさつと闘いの決意表明のアピール(別掲)が寄せられ、熱い連帯を確証した。

メイデーに唯一

革命的宣伝を貫く

不況を物価高が激化し、労働者人民に対する搾取、抑圧が強化される中、第四十六回メイデーが全国各地で開催される。この日オスのピンチャンにおいては、右派関係のチャンパサク国防相、サナニコン蔵相の追放を要求し、「国会はもろい、総計六十八万人」が叫ばれ、総計六十八万人以上といわれる労働者人民により、集会やデモ行進が行なわれた。

民は革命的な熱気の中でメイデーを祝い、ブロンベン放送は革命歌を流し、仏、日、米の帝国主義者どもに対して断つた攻撃を行なうたといわれている。またサイゴンにおいても、革命政府旗がいたるところではたなびき、労働者人民の革命的な熱気があふれ、「祖国の解放日を迎えよう」との横断幕をかかげ、メイデーデモを行なうたといわれている。

「仕事よこせ！」「生活館死守！」

横浜寿町の労働者を中心に、四月十二日、「仕事よこせ」切替行動、日雇労働者総決起集会が行われた。十二日、寿町実行委の主催の下に、浜公園野外音楽堂で行われた集会には二五〇名余が参加し、山谷仕事よこせ行動委、全港島の労働者、三里塚青行隊、横浜新貨物線反対同盟、部落解放同盟神奈川県連、中福祉事務所労働者、寿共同保育の仲間、小川プロの湯本さん、寿町実行委支援連絡会議などからの発言が行われた。

横浜寿町では、寿町実行委の市当局との交渉による生活館三二二七日までに、凍死、病氣などがあつたという。また、生活館のたき出しの宿の最低限の費用の支出を約束させ、また、寿町労働者との交渉で、一部はあられ越年資金を給付されたが、その後、飛鳥田市長は二月三日付で一方的に生活館の閉鎖を決定した。

5・7島添さん

解雇一周年集会

島添さん不当解雇撤回を要求する闘いにおいて、運動・組織つづきをねらった刑事弾圧をばねかえし、再度の闘争と市民刑事裁判闘争での勝利へむきかえし、再会の闘争を準備して闘いぬいている「撤回させる会」の主催で、七日、「沖電氣による沖縄差別弾圧！島添さん一周年報告集会」が開かれた。

集会では島添さんから「闘わなければ沖縄人は生きてゆけない」という確信のもとに断つた闘争決意と問題提起が行なわれ、また沖縄労働者の会からは「沖縄人の団結を再構築し、自らの生活と未来を奪い返す」と、硬い決意と連帯のあいさつが行なわれ、結果した労働者人民は、熱氣あふれる発言を拍手をもって確認した。

5・15闘争の圧迫的展開を準備

皇太子訪沖阻止など掲げ東京

七日沖縄「返還」による施政の日本支配階級への移行に労働者の会の呼びかけで実行委員の下に集結が準備されている。五日、午後八時から六六三三号地の集会を予定。

七日沖縄「返還」粉砕！海軍博粉碎！皇太子—皇族訪沖阻止！CTS建設阻止！日米共同軍事基地撤去！の「スローガン」が掲げられている。



4・28闘争で断固たるデモ貫く

府・公団は立候補した私にに対し「北原を市議会へ送るな」という全立候補者への要請を行いました。しかも、北原を落すことにおいて、空海公団は、あらゆる支援を惜しまぬという全くの弾圧体制がしだいで中絶と開港阻止の闘いが北原公団に多

府・公団は立候補した私にに対し「北原を市議会へ送るな」という全立候補者への要請を行いました。しかも、北原を落すことにおいて、空海公団は、あらゆる支援を惜しまぬという全くの弾圧体制がしだいで中絶と開港阻止の闘いが北原公団に多

在日ベトナム人留学生が旧大使館抗議・不当逮捕抗議闘争

ベトナム人民の勝利に連帯する在日ベトナム人留学生は、四月三〇日、崩壊したサイゴン政府の旧大使館前において、「パスポートを燃焼する」という行動を行ったのに対し、偽造文書作成禁止と大使館財産の保全を求めて旧大使館への警察とした交渉行動を行った。

日本警察機動隊はこれに対し、旧サイゴン政府の不当な大使館占拠を非難するベトナム人留学生二〇人に対し「住居不法侵入」などの言いがかりで逮捕した。留学生は五月一日から直ちにハンストによる抗議闘争に突入り、一日夜日本政府に釈放を求めさせた。

これに先だってベトナム留学生有志は次のことを訴えるレタをだした。「一九七五年四月二〇日、ベトナム時間午前〇時、わが国の長い間の悲憤をわめたる戦争が終結し、真の平和と主権がベトナム人民の手に帰った。私たち

SCPPが訴え エリトリア支援カンパを

エリトリア人民の解放闘争の進撃に呼応して、エリトリア人民への支援カンパを呼びかけているパレスチナ人民支援センターは、全世界の解放運動・革命闘争との連帯の強化の一環としてエリトリア人民の解放闘争組織の一つであるELFへの支援カンパの強化を呼びかけている。エチオピア軍事政権の併合主

韓民統が訴え

韓国民主回復統一促進国民会議日本本部は、五月七日、韓国首相、金鐘泌の来日(五月八日)に反対し、日本の対韓経済援助は朴独裁への支援であり、朴の犯罪への加担であることを訴えるビラをまいた。

ビラでは、日本人民に共に金鐘泌を支持するよう訴えた。

成田市議選に勝利!

しかしながら反対同盟は10年間にわたる闘いの底力を発揮し、前々回の成田市議選にも見られなかった圧倒的な勝利を現し、勝利の原動力となった。

今回の市議選の意義は、まず第一に、戸村委員長とともに常に三里塚闘争の最前線に立ち、北原鉦治市長を押し退けてきた北原鉦治市長の闘いとして、おしなべて「早期開港」論に屈する中で、今回の市議選に屈せられた。

32人の立候補者中、唯ひとり「空港絶対反対」のスローガンを掲げ闘い抜いた北原氏を除いて、おしなべて「早期開港」論に屈せられた。

社会党は、空港問題を一語も言わず、共産党は「早期開港」論を主張して、共産党の早期開港、取香会、同現闘争をはじめとする現闘争団体は、成田全域に対する圧迫的な情宣活動を行ない、北原市議選勝利のため、共に闘いぬき

白鳥氏当選

来日反対、日本政府の対韓援助に反対するよう訴えた。

労働者(静岡)などの支持に、静岡商工会から市議選に立候補した白鳥貞香氏は、四四八五票をもって第一位で選

パレスチナ武装解放闘争を支持し、パレスチナ—日本人民の革命的連帯をさらに固めよう!!

ヨルダン国王ファイサルは五月六日、訪問中のアメリカで、エジプト、シリア両国政府と検討した結果として、イスラエル、パレスチナ、シリアの全自治領地から撤退すれば、戦争状態の終結、イスラエルの承認をおこなうこと、②現在「和平」の最もよい時期であること、③アメリカがイスラエルに「和平」を説き、中東での「平和共存」を実現するよう努力すべきであることを表明した。

この態度表明は米帝が本年当初、中東産油国への軍事介入も用意しつつ、イスラエルの存続とパレスチナ人民の「平和共存」への封じ込め策動をおこなったことと直接に関連している。米帝のかかる策動はパレスチナ人民の奮闘たる武装解放闘争の堅持に恐怖したイスラエルオニオストが、PLOの承認を最終的に拒否したことによって破産した。

アラブ反動派、アライの主張は米帝の策動をひきつぎイスラエルの全自治領地からの撤退を条件に、パレスチナ人民の武装解放に踏み切り、イスラエルの「安全」を保障することを明らかにしたものである。

アライはオマン、アラビア湾解放戦線を弾圧するためにオマンに援助を与えているように、パレスチナ、アラブ人民の搾取、収奪に反対する闘争に恐怖しており、米帝と結びヨルダンにおける自らの支配権の維持のために、現状の固定化を策し、パレスチナ、アラブ人民の対イスラエル武装解放闘争を打ち、イスラエルオニオストとともに中東での支配の維持をはかるという。エジプトはイスラエルの再興による経済的利益の確保のために、パレスチナ、アラブ人民に対してオニオストの不当な抑圧支配に屈服

するように策動している。中東「和平」、アラブ諸国のイスラエルとの「平和共存」は連帯も主張してきたものであるが、土地を追われ、銃剣で難民化されたパレスチナ人民の武装解放闘争に敵対し、人民の武装を解体し、支配者共による中東諸国での利益の分割、防衛を策動するものではない。

米帝やソ連、アラブ反動派、アラブ小ブル民族主義者のヘゲモニーですすめられている現在の中東「和平」策動は「平和共存」の「平和共存」策動は、パレスチナ人民の封じ込めとイスラエルとの「平和共存」策動は、パレスチナ人民の封じ込めとイスラエルの存続とパレスチナ人民の「平和共存」への封じ込め策動をおこなったことと直接に関連している。米帝のかかる策動はパレスチナ人民の奮闘たる武装解放闘争の堅持に恐怖したイスラエルオニオストが、PLOの承認を最終的に拒否したことによって破産した。

アラブ反動派、アライの主張は米帝の策動をひきつぎイスラエルの全自治領地からの撤退を条件に、パレスチナ人民の武装解放に踏み切り、イスラエルの「安全」を保障することを明らかにしたものである。

アライはオマン、アラビア湾解放戦線を弾圧するためにオマンに援助を与えているように、パレスチナ、アラブ人民の搾取、収奪に反対する闘争に恐怖しており、米帝と結びヨルダンにおける自らの支配権の維持のために、現状の固定化を策し、パレスチナ、アラブ人民の対イスラエル武装解放闘争を打ち、イスラエルオニオストとともに中東での支配の維持をはかるという。エジプトはイスラエルの再興による経済的利益の確保のために、パレスチナ、アラブ人民に対してオニオストの不当な抑圧支配に屈服

役割を果たしている日本の革命的人民のたたかいが更に拡大されなければならぬ。

日本の革命的人民によるパレスチナ武装解放闘争への支援連帯は、七月五日二十日、イスラエル、リッジ空港における日本人二戦士の勇敢なたたかいと、この闘いは日本労働者人民に対して大きな衝撃を与えたことにも支離離れによって設定された国境の内外ばかりでなく、国境の枠を越えた労働者人民の戦士のたたかいの現存性をはつきりと示したものであった。

現在在労働者人民の国際的連帯のたたかいは表現する条件はすばらしいものに前進しているベトナム、カンボジアの民族解放戦争が圧倒的な勝利をおさめ、米帝のインドシナにおける支配は決定的な敗北を余儀なくされた。インドシナにおける闘いは、さらにタイ、マレーシア、フィリピン、朝鮮の労働人民の英雄的な闘いと呼吸しており、これらの地域での労働人民の解放闘争は勝利に向けて巨大な前進を開始している。中国人人民はこれらの革命闘争との連帯をうかがっている。

帝国主義諸国は過剰資本が蓄積され、独占資本による労働者人民に対する搾取収奪が一層強化され、よりむき出しの暴力による支配がはじまっている。帝国主義による諸外国への利権の確保、民族の抑圧はますます強められ、帝国主義の支配に対するたたかいは世界のいたるところに拡大している。

ソ共社会帝国主義者は「地域的安全保障」を唱え、労働人民の武装解放闘争に敵対し、労働人民の武装解除を促し利権の確保と覇権の構築のための画策を一層強めている。

ベトナム、カンボジアの解放

アラブ赤軍—日本赤軍の諸君は、自らをパレスチナ、アラブ人民とともに、パレスチナ全土を解放するために闘って来た日本赤軍(七十五年一月七日付声明)として、国際的な革命境の枠を越えて、国際的な革命人民の団結をつくり出す上で大きな役割を果たしている。わが委員会には日本赤軍が、米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブ小ブル民族主義者によるパレスチナ武装解放闘争の圧殺に抗して、パレスチナを舞台に「拒否戦線」と闘い、武装を堅持し、イスラエル抑圧者、その支援者に対して勇敢にたたかっていることが断固支持される。

わが委員会は社会帝国主義、小ブル的改良主義、社会排外主義、義と結び手と切り、労働人民の武装を堅持したたたかっている革命的部分が国際的に団結するために、また全世界で、帝国主義と、社会帝国主義、小ブル的改良主義、社会排外主義との

ルの改良主義、社会排外主義とを粉砕し、世界プロ独裁樹立に向けて、闘争条件をつくり出すためにたたかっている。

また、こうしたたたかいは対する日本支配階級の悪質な弾圧にたいしては、極刑を必要とする。また、日本支配階級は中東に対しては中東産油国からの原油輸入に死活をかけており、原油の供給とひきかえにアラブ諸国への経済援助を約束する、あたかもアラブ寄りの政策をとっているかのようになっている。

しかし一方で、国連決議を支持し、イスラエルと国交を結んでおり、リッジ空港闘争に対してはイスラエルに謝罪し、損害賠償を支払うなどイスラエルの暴虐を容認し、中東における民族解放闘争のたたかみを抑え込むために策動している。

そして、日本の革命的人民がパレスチナ武装解放闘争に結び

ポルトガル政治情勢の激動

左派の成長と反革命的諸策謀

ポルトガルの情勢は、昨年の四月二日民主化クエーター以後、今年四月二日の制憲議会選挙まで三つの大きな転機を経過し、労働者、人民の闘争は着実に前進を続けている。それは、どういふ意味の前進であろうか。

昨年四月二日の軍部によるクエーターは、ポルトガルを長期にわたって支配し、海外植民地を維持してきたサラザール、カエターノ等のファシスト独裁を打倒した反専制のクエーターであり、ファシストの秘密警察を解体した。この反専制クエーターは、軍隊内の国軍運動によって担われ、彼らはそれまで地下にいた諸政党との協力を作りあげることによって、ポルトガル人民の民主化と、植民地政策、植民地戦争の転換を果すことを

つくり出した。最も神経をいらし弾圧することには必死になつて、日本赤軍としてスエーデン政府によって送還された二君を連補し、家族に圧力をかけ、二君を長期拘留し日本人民の接撃を妨害した上で、極刑を必要とする。また、その方針に従わせるために労働組合の統一を提起し、またその方針への国軍運動の支持をとりつけた。社会党と人民民主党はこれに反対し、政府からの離脱の脅迫をもつて共産党と対立したのである。

今年三月十一日の再度の右翼クエーターの計画は、こうした状況に対して、それに乗じて反革命的な転換を企てたものであった。

三月十一日のクエーターは、全くの失敗に終わったが、このクエーターは、スピンラ等の分子が一貫して反革命的策動に精を出して来たこと、そして、社会党などの社会民主主義者もそれと決して無縁ではなかったこと、そして、無縁ではなかったこと、そして、社会党は共産党などに対抗するためにスピンラ等と通じてきたのである。

三月十一日クエーターの結果として最高革命評議会は一新され、いわゆる国軍運動の左派で固められた。また、これまで国軍運動、革命評議会が四月の制憲議会選挙までの臨時の権力と構想されていたのに対して、国軍運動の国家機関としての制度化とその当面の継続という方向がとられたのである。これは重大な転換である。四月十一日に大転換である。四月十一日に国軍運動と六政党(共産、民主運動、人民社会戦線、社会、人民民主、社会民主中央)の間の調印された「共通憲政綱領」は次の内容を含むものである。①国軍運動が制憲議会選挙後二年間は五年の過渡期間中政治の最高権力を維持する。②大統領は直接選挙による。③国軍運動会議と公選議会との間の間接選挙制をとる。④大統領は国軍運動の幹部である最高革命評議会の議長と三軍最高司令官を兼任。⑤革命評議会は公選議会の立法について承認を与え、同時に独自

基本としている。この平和革命論は軍部運動との結合の中で現実には変形を遂げている。彼らは、制憲議会選挙の実施を主張しながら、これは限られた機能しか持たないものであり、独立した主権を有する立法議会ではありえないと言っている。この主張は、昨年十月の党大会。こうした方向は、三月十一日クエーター後の政府の編成がえの中で国軍運動の採用するところとなった。共産党の強い影響の下での政府の経済政策は、まず銀行と保険会社の国有化を行い、次に四月十五日以降、独占資本の国有化が開始されている。土地改革はやはり四月十五日の政策発表で五百ヘクタール以上の土地所有の収入が宣言された。しかしインフレと資本家、地主による生産者ボタージュは続いている。

こうした状況の下では、武装勢力をしっかりとした階級の基礎の上に再編成し、することが不可欠なことは明らかである。

共産党に対しては、戦術的に左に位置するものとされる諸政党は、①プロレタリア党再建運動(MRPP) ②共産主義労働者組織(労働同盟(AOC)) ③プロレタリア革命党(PPR) ④革命的統一行動同盟(UAR) ⑤人民民主連盟(UDP) ⑥人民統一党(PUP) ⑦ポルトガル共産党(MLPCPM) ⑧ポルトガルMLP ⑨ポルトガル共産党(ML) ⑩MLP ⑪MLP ⑫MLP ⑬MLP ⑭MLP ⑮MLP ⑯MLP ⑰MLP ⑱MLP ⑲MLP ⑳MLP ㉑MLP ㉒MLP ㉓MLP ㉔MLP ㉕MLP ㉖MLP ㉗MLP ㉘MLP ㉙MLP ㉚MLP ㉛MLP ㉜MLP ㉝MLP ㉞MLP ㉟MLP ㊱MLP ㊲MLP ㊳MLP ㊴MLP ㊵MLP ㊶MLP ㊷MLP ㊸MLP ㊹MLP ㊺MLP ㊻MLP ㊼MLP ㊽MLP ㊾MLP ㊿MLP

に広範な立法、行政権をもち、政府、議会、裁判所を監督する。今年四月二日の制憲議会選挙はこうした全権を握っている革命評議会の方向がただけ政治的結束力を持っているかを示すものであった。同時に、国軍運動の方向を支持してきた共産党の政治的結束力を問うものであった。このいわゆる「軍共プロ」は、軍事力による支配は保持しているが、全人民的な政治的結束力を持っていないことが投票結果として示された。単に暴力装置(軍)を獲得するだけでは、単に政権を保持するだけでは、労働者、人民の政治的結束を得ることができず、さらにブルジョア的幻想を解体することでもできない。そうしたことをためには、大衆自身が決起し、反革命に対して徹底的に闘いぬくのでなければならぬ。

革命は、労働者階級自身の、人民自身の事業として遂行されるべきである。

ポルトガル共産党は、九月の反革命策動以後、臨時政府に大きな影響を与え、いわば与党の地位を占めてきた。この党は、党自身のほかに、地下運動中の合法的統一行動組織であるポルトガル民主運動(MDP)や青年婦人運動組織を持つている。彼等はカエターノ専制時代に反政府グループ中で最大の党組織を作りあげてきたが、親モスクワ路線として知られている。彼らは「革命の性格は民族民主革命であり、その推進力は民主的人民運動と軍隊運動の二つの構成部分からなる」としている。彼等の綱領はこの段階の目的として(八項目)を掲げている。国家の民主的組織、独立権力の一掃、土地改革、人民の生活水準向上、制度と文化の向上。ポルトガル人民の即時独立の権利、平和・友好の外交、そして、「民主的」な社会主義主義への転換を宣言した(三)社会主義左翼運動(MEIS)などが知られている。

左翼諸グループのうち大きなものは①②であり、④は国軍運動の反革命部隊であるC

OPCONと共同行動に従事しているとも伝えられている。④は第四インター(UIS)支部である。①②は右翼のキリスト教民主主義とともに四月選挙への参加を禁止された。MRPPは共産党を社会ファシストと規定し、大衆運動が革命過程のヘゲモニーを握るべきだとし、社会民主中央党と小ブルの右派政党への武装攻撃を行ない、また街頭デモを組織し、その影響力を格段と増強させてきている。国軍運動は三月クエーター粉砕などを通じて左派系へのヘゲモニーが強化されたが、共産党系とされる部分や民政移管を唱える部分が混在しており、また大きな政治的分岐を内にはらんでいるといわれる。

その組織形態は、「民主的な組織、討論形態を備えた運動」とであると共産党書記長クニャーラは述べている。昨年四月二日発表された国軍運動の綱領の主要点は次のようなものを含むが、現在時点ではその立場はこの綱領より左傾化したものである。

①文民政府が早期に形成されるまで救済軍事評議会を通じて政治権力を行使する。②制憲議会の十一月以内の召集。③根本的改革は制憲議会による。④臨時政府の政策は行政の厳正執行、市民の政治的自由、集会結社の自由、思想の自由、司法権の独立である。⑤最も恵まれた人々の人民階層を反インフレ的経済政策。⑥海外領土問題の非軍事的解決。⑦武装勢力の改組、粛清などである。

今年四月の選挙とクエーターで示された社会党、人民民主と共産党の対立の激化という中で、国軍運動内部の政治的再編、左翼的諸政党がそれと結びつき、指導しうるかどうかが、今後のポルトガル情勢の決定的な要因となるであろう。そして、いわば国軍運動に巻き込まれることにより、路線を動揺させている共産党の動向はそれらとの関係のどの方向に政治的性格を決するであろう。

最近の「医療問題」について

「医師会」製薬資本などの反人民的医療支配を打ち砕こう！

今年一月から三月にかけてマスコミで盛んにかきまわられた...

D、プロレタリア独裁権力とプロレタリア統一戦線戦術をめぐる論争

「コミンテルン第二回大会は、ヨーロッパでの革命運動の困難性、とりわけ二年の「ドイツ三月行動」の挫折の総括から「世界革命」(は、...)

師会の力に屈服し、また全体として資本主義の生産を維持する...

例も少なくない。これらの問題に対処すること...

このことは、一九六一年「国民皆保険」...

て労働力を確保するために、あるいは、労働者が企業の利益を...

担金をとられる。よく、組合健保は「貴族健保」...

をおしだしている。いうまでもなくこれらの団体においては、

学 習 国際共産主義運動の歴史

コミンテルンの歴史から

が、概して、新しい雰囲気の原因を、統一戦線をつくりたい...